

《単位互換提供科目詳細》

* 科目 No.

◆1413

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島工業大学			科目開講 キャンパス	サテライトキャンパスひろしま			
2. 科 目 名	正式科目名	学外研修（グローバル化時代のものづくり技術者像）				クラス名		
	副題					配当年次	3 年次	
						受入学年	3 年次以上	
	旧科目名							
	学問分野	番号	42	名称	国際関係			
	サテライトで開講される科目の科目群			A 群	○ B 群			
3. 担当教員名	長坂康史（情報工学科 教授）							
4. 単 位 数	2 単位		5. 開講学期	後期				
6. 開講期間 曜日・時間	2015 年 9 月 26 日（土）～2016 年 1 月 23 日（土） 土曜日 13：00 ～ 16：10 ※ 1 月 23 日（土） 13：00 ～ 14：30							
個別開講日	1 回目 9/26	2 回目 9/26	3 回目 10/3	4 回目 10/3	5 回目 10/24	6 回目 10/24		
	7 回目 11/7	8 回目 11/7	9 回目 11/21	10 回目 11/21	11 回目 12/12	12 回目 12/12		
	13 回目 1/9	14 回目 1/9	15 回目 1/23	16 回目 /	試験日	/		
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 （ ○2. 「基礎知識を必要としない科目」							
8. 募集人数 （総授業定員）	10 人 （ 40 人）		9. 定員超過時の 選考方法	書類選考				

10. 科目内容・授業計画	1. 目的 産業経済社会は今ものづくりにおいて、さらにグローバルに通用する製品と技術の発信、そして海外企業との連携が求められている。このような中、高いものづくり技術をもつ企業の多い広島で、あらたな海外事業に取り組むことができる人材の育成は急務である。 本講義では、多様化するグローバル産業経済社会に適応するため、海外実務経験者との討論を交えながら、グローバル人材としての素養を修得するとともに、海外事業展開を活発に行っている広島の「ものづくり」を中心とした現場で活躍できる力を修得する。 2. 科目内容 本講義は、異文化コミュニケーション、海外ものづくり事情、海外文化事情、そして、海外現地研修の4部で構成される。また、講義は座学に偏らず、講師及び受講者を交えた討論や、グループワークなどの体験的な演習などを取り入れたアクティブラーニング手法によって知識を身に付ける。 (1) 異文化コミュニケーション 広島の産業界が事業を展開している海外地域を意識し、中国を中心にした東アジアまたアセアン諸国などの文化的な事情を理解する。 また、異なる文化を持つ人びととコミュニケーションを図る上で知っておくべき知識について学ぶ。 (2) 海外ものづくり事情 工学系分野における海外での事業展開を念頭におき、ものづくりをベースにしながら海外での勤務や現地の技術者との協同作業に必要な知識を学ぶ。 (3) 海外文化事情 海外にある日本企業に勤務する現地職員また広島の大学に在籍する留学生を交え、討論を行いながら日本との文化の違いを理解する。たとえば、留学生から見た自国と日本の違いなどをテーマに、討論をとおして、それぞれの文化を理解するとともに、日本の文化についても再認識する。 (4) 海外現地研修（希望者のみ・約1週間） 中国に事業展開している広島の企業の現地事業所を研修場所として、現場職員との積極的な意見交換、また、具体的な作業体験などを行う。 3. 授業計画 第01回 ガイダンス 講師：濱崎 利彦（広島工業大学） 第02回 異文化コミュニケーション全般 講師：上水流 久彦（県立広島大学） 第03回 英語圏における異文化コミュニケーション 講師：三熊 祥文（広島工業大学） 第04回 グローバル化する日本社会と異文化理解 講師：崔 博憲（広島国際学院大学） 第05回 ものづくりにおける海外事業展開と技術移転 講師：高田 忠彦（広島大学） 第06回 海外ものづくり事情（自動車分野） 講師：豊田 裕三（マツダ株式会社） 第07回 海外ものづくり事情（デジタル情報家電機器商品企画・戦略分野） 講師：杉木 雄三（クリプトメリア経営コンサルティング） 第08回 海外ものづくり事情（電気電子工学分野） 講師：小西 善彦（広島工業大学） 第09回 海外ものづくり事情（食品分野） 講師：加賀田 知穂（アンデルセングループ） 第10回 海外ものづくり事情（建設分野） 講師：山下 剛（株式会社フジタ） 第11回 ものづくりにおける海外事業展開 講師：深田 進（中小企業基盤整備機構） 第12回 海外ものづくり事情（コンピュータシステム分野） 講師：鈴木 誠（株式会社インタフェース） 第13回 海外文化事情（日本企業勤務の現地管理社員の視点） 講師：趙 鵬海、呂 曉鵬（大連JMS医療器具有限公司） 第14回 海外文化事情（留学生の視点） 講師：長坂 康史（広島工業大学） 第15回 まとめ 講師：長坂 康史（広島工業大学）
---------------	--

11. 試験・評価方法	異文化コミュニケーション、海外ものづくり事情、海外文化事情の3テーマにわけ、それぞれのテーマで知識・理解、発表・表現、姿勢・意欲を評価する。		
12. 別途負担費用	全講義受講終了後、海外現地研修として、中国で事業展開をしている地元広島 の企業を訪問し、意見交換および作業体験などを行うプログラム（約1週間） への参加を希望することができる。なお、渡航費用の半額と現地での生活費に ついては自己負担となる。		
13. その他特記事項	講義はサテライトキャンパス広島で実施する。 講師等の都合により、講義内容や担当者、授業順が変更となる場合あり。		
14. サテライト科目 の社会人受講につい て	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	○否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	○可	否